

光あるうちに
光の中を歩め

日本 第 九



2009年 12月 12日(土) 午後3時 開演
※2時30分開場

萩市民館大ホール

主 催 萩発愛のメッセージ・萩合唱団

後 援 萩市・萩市教育委員会

指揮 家田 厚志 (いえだ あつし)



1955年2月神戸生まれ。大阪、追手門学院大学心理学科(音響心理学専攻)卒業という異色の経歴を持つ。音響心理学を加藤徹、打楽器を百瀬和紀、指揮を山岡重信、各氏に師事。その後渡欧。

1980年より、二期会、ステファノ・オペラ劇場などの指揮者として活動を開始。1988年4月劇団四季において大きな話題を呼んだミュージカル「オペラ座の怪人」の日本初演を指揮、劇的な成功を収める。以来、新星日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック、群馬交響楽団、ニューフィルハーモニー千葉、九州交響楽団、N響団友オーケストラ等を指揮して個性的な名演を数多く生み、常に話題を呼んできた。海外においても台湾の台北首都歌劇団、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団を指揮。また中国における戦後初の外国人常任指揮者として1994年から1996年まで上海放送交響楽団常任指揮者、引き続き2004年まで同団指揮者を務め、同団の実力・地位を飛躍的に向上させた。

2000年から2007年まで東邦音楽大学特任教授。さらにラジオ大阪「家田厚志のタクトでバトル!」DJ、フジテレビ「トリビアの泉」、TVコマーシャル「セガミ薬局の霊芝エスモン」等でも活躍。大胆かつ繊細な音楽性と、クラシック音楽のイメージを覆す強烈に明るいキャラクターで人気を集めている。現在、フィルハーモニア東京指揮者。

アルト 稲本 まき子 (いなもと まきこ)



東京芸術大学卒業、同大学院修了。戸田敏子・田中伸江・児島百代の各氏に師事。NHK洋楽オーディションに合格し、ブラームスの歌曲で出演する。コンサートではバッハ「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」ヘンデル「メサイア」モーツァルト「戴冠ミサ」ベルゴレージ「スタバトマテル」ヴィヴァルディ「グローリア」等の宗教曲や「第九」のアルトとして活躍している。オペラは「リゴレット」のジョバンナでデビュー。「フィガロの結婚」マルチェリーナ「魔笛」侍女「コシ・ファン・トゥッティ」ドラベラ「アルバート・ヘリング」母親等を演じている。

昭和音楽短期大学・北鎌倉女子学園・アブリカルチャーセンター講師、横浜シティーオペラ・鎌倉音楽クラブ会員。

バリトン 太田 直樹 (おおた なおき)



東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修了。86~89年シュトゥットガルト音楽大学に留学、リート科、オペラ科を修了。帰国後オペラ研修所第8期を修了。声楽を伊藤巨行・ギンター・ライヒの各氏に師事する他、90~04年草津

およびドイツにおいてエルンスト・ヘフリガー氏のマスタークラスに参加。92年研修所修了公演「チェネントラ」を皮切りに、二期会公演「フィデリオ」「学生王子」「ホフマン物語」「ニュンベルクのマイスター・ジンガー」、東京室内歌劇場公演「アルジェのイタリア女」「ヴェニスに死す」「青空を討つ男」「リウ・ウンの夢」(東京・ソウル)長野五輪オペラ「善光寺物語」、二期会・新国立劇場共催「罪と罰」、新国立劇場小劇場「オペラの稽古」「ドン・ジョバンニ」、東京オペラ・プロデュース「恋するサー・ジョン」「魔笛」「当惑した家庭教師」「カプリッチョ」等のオペラに出演。ドイツ歌曲を中心としたリサイタルや演奏会も多く、最近では「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」全曲演奏会、ヴォルフ「イタリア歌曲集」、浜離宮朝日ホール・ヴォルフ歌曲全曲演奏会シリーズ、草津国際夏期音楽祭などに出演。また、バッハ「ヨハネ受難曲」、カンタータ、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」「四季」「ハーモニミサ」「テレジアミサ」、モーツァルト「戴冠ミサ」「太ミサ」「孤児院ミサ」「ミサ・ソレニムス」「レクイエム」、ニコライ「ミサ曲」、ベートヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」等の独唱を多くつとめている。05年1月東京室内歌劇場ブルーアイランド版「魔笛」、3月東京室内歌劇場韓国公演「曾根崎心中」7月東京オペラ・プロデュース「ヴァンパイア」、8月「美しき水車小屋の娘」全曲演奏会、11月フォーレ「レクイエム」、12月「第九」、06年1月デュリュフレ「レクイエム」、3月現音プロジェクト「居酒屋御伽噺」、読響「スペシャルコンサート」、5月「二期会週間ブラームスの夕べ」、7月東京室内歌劇場ブルーアイランド版「フィガロの結婚」などに出演。桐朋学園芸術短期大学講師、東京都立芸術高校講師、二期会会員、東京室内歌劇場会員、東京オペラ・プロデュース・メンバー。

ソプラノ 亀田 眞由美 (かめだ まゆみ)



東京芸術大学別科終了後、洗足学園音楽大学卒業。オペラ「魔笛」の夜の女王でデビュー。以来二期会、日生劇場公演をはじめ多くの公演に出演している。

他のオペラでは「後宮よりの逃走」のコンスタンツェ、「ボントの王ミトリダテ」のアスパジャ、「劇場支配人」のヘルツ婦人、「シンデレラ」(マスネ)の妖精の女王、「オルフェオとエウリディーチェ」のエウリディーチェ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「金閣寺」(日本初演)の母親役を歌っている。

1988年より、ローマ・モスクワ・ブエノスアイレス・ケルン・ベオグラード・ロンドン・ウルグアイ・サンパウロ・ウィーン等でリサイタルやコンサートに出演し、日本歌曲の紹介にも取り組んだ。特にサンパウロでの2回のリサイタルは好評であった。

また「第九」や「メサイア」「レクイエム」等宗教曲のソリストの他、ヴィラロボス「ブラジル風パッサ」等オーケストラとも共演している。新作を手がけたリサイタルをはじめ、リサイタルも回を重ねている。日本歌曲の分野は意欲的に取り組み、演奏活動を続けている。洗足学園音楽大学講師、二期会会員、鎌倉音楽クラブ会員。

テノール 小林 彰英 (こばやし あきひで)



東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第6期生修了。森明彦・三林輝夫・故正田次郎・故山路芳久・カルロ・メリチャーニ諸氏に師事。第16回イタリア声楽コンクール・テノール特賞受賞。文化庁芸術家在外研修員としてイタリアに留学。在伊中、第8回エルコラーノ国際声楽コンクールで第2位入賞。

オペラでは、二期会「メリー・ウィドー」のカミュユ、「チェネントラ」のドン・ラミーロ、「こうもり」のアルフレード、東急Bunkamura「魔笛」のタミーノほか、「ナクソスの島のアリアドネ」プリゲッラ、「アベトリスとベネディクト」、「オリバー伯爵」オリバー、「セビリアの理髪師」アルマヴィーヴァ等を歌っている。またコンサートでは、N響定期ラヴェル「子供と呪文」、都響定期ハイドン「四季」、東響第400回記念演奏会シェーンベルク「モーゼとアロン」、日フィル・プリテン「セレナード」に出演。その他、ヘンデル「メサイア」、ベートヴェン「第九」等の演奏会で、多くの主要オーケストラと共にソリストとして出演。昨年3月韓国・高陽市星沙劇場、8月イタリア・スポレート市カイオ・メリッソ劇場にて「曾根崎心中」徳兵衛に出演。現在、東京音楽大学、東京芸術大学で非常勤講師を務める。東京室内歌劇場会員、二期会会員。

鎌倉交響楽団

鎌倉市民によるアマチュア管弦楽団として昭和38年に発足、現在団員120名を超える。

春と秋の定期演奏会、3月のファミリーコンサート、12月に鎌倉市民第九コンサート(芸術館主催)、鎌倉市の幼稚園協会による園児のための演奏会の他、年2回の室内楽演奏会などを継続して行っている。

平成11年には、鎌倉・萩姉妹都市提携20周年を記念して両市で第九演奏会を、平成14年には団創立40周年記念演奏会を春・秋2回開催、平成17年7月には、鎌倉合唱連盟40周年記念イベントに賛助出演を行った。

団員の年齢層が学生から高齢者まで幅広く、職業も東京・横浜への通勤者、主婦、医師、教員と多彩であることが特徴であるが、近年はクラシックの古典に加え近現代の基本的な作品にも計画的に挑戦するとともに、地元に着目した活動により力を入れるなど、音楽文化のリード役としての活動を志している。



Program Note

L.v.ベートーヴェン:「フィデリオ」序曲 作品72b

ベートーヴェンはあらゆる分野に多くの作品を残したが、歌劇については生涯にこの「フィデリオ」ただ1曲のみである。最初の完成をみたのは1805年、第3交響曲と第4交響曲の間になるが、その後2度にわたって大改作し、決定稿で上演されたのは1814年、第8交響曲のあとである。開幕の序曲として独自に奏されることが多い曲である。

L.v.ベートーヴェン:交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付き」

ベートーヴェン(1770~1827)が壮大な構想を持って完成させた未踏の境地。交響曲に声楽を持ち込んだ異例の作品。器楽と声楽の融合、全人類の理想を歌った歌詞により、記念碑的な作品として名高い。

- I 快速に、しかし速すぎないように、荘厳に ニ短調 4分の2拍子
- II 快速に、生き生きと ニ短調 4分の3拍子
- III ゆっくりと、そして歌うように 変口長調 4分の4拍子
- IV 極めて速く ニ短調 4分の3拍子

歓喜とは神々の火花、歓喜とは同志愛



1993.12.19 初回「日本の第九」萩市民館大ホール

「歓喜とは神々の火花である。歓喜とは同志愛、心を分かち合える仲間である。そしてベートーヴェンがもっとも訴えたかったことは国境のない世界の到来である。」

先日萩での講演でなかにし礼さんがおっしゃった言葉です。16年前、日本語での「第九」演奏会の準備に苦慮しているとき、正に「同志」が鎌倉にいたのです。1000キロの距離を超えて、初めてお会いしたときの印象を今もって忘れることはできません。不思議なことに初対面とは思えない、まるで懐かしい親戚にでも会ったかのような気持ちでした。それまで「鎌倉」というところは遠く、それでいて何となく「憧れ」の地というイメージでした。ベートーヴェンのお導きで、その鎌倉の皆様と第九を通してこんなにも深いお付き合いが16年間も続いたこと、そしてこれからも間違いなく続くことを本当にうれしく思います。

お陰様で16年経った今日も、この萩市民館のステージで、鎌倉の同志と共に愛のメッセージを歌うことができます。

皆様、本日はご来場誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

そして手弁当で参加して頂いた鎌倉交響楽団、鎌倉椿会の皆様、本当にありがとうございました。

2009年12月12日

『萩発愛のメッセージ』代表 杉 ひろ子

日本の第九合唱団

(各パート五十音順表記)

ソプラノ

阿部昌子
上田昌子
☆ 沖野雅代
○ 川村孝子
○ 北岡久子
木船幸歩
久保美子
久保田澄江
極楽地希実圭
○ 佐藤順子
白上和加子
杉ひろ子
○ 高瀬節子
田中孝子
長田裕子
橋本益美
藤井智恵子
村木七海

綿貫和恵

アルト

油屋桂子
石田満洲美
磯部多賀子
井町千春
今富良子
宇野佳代子
梅地慈子
大嶋幸恵
○ 大竹由美子
大村千鶴子
岡恭子
小田瑞枝
恩田紋子
河井紀己代
○ 笠原玲子
片山加代子

金崎八重子

木田貞子
○ 木谷典子
☆ 木村道子
久保八重子
齊藤成子
斉藤千絵
佐伯貴恵
坂井優文子
城一弘子
鈴木勝恵
土山政子
○ 筒井純子
坪井ヒロ子
○ 殿谷智恵子
○ 野島明子
○ 野島雍子
波多野紀久江
濱村紀江

原田梨恵子

平川典子
弘實和子
○ 古川道子
○ 細野和子
堀芳子
松浦昌子
松岡幸子
宮内早苗
村木三津子

枇杷木徹也

藤井貞夫
○ 幸俊二

バス

○ 妹川稔
上田哲史
☆ 大田剛志
○ 金川剛文
○ 長井弘
中村正
秦将宣
○ 藤井正綱
藤山泰宏
松原満和
○ 御園生勲
諸岡皓二

テノール

☆ 坂本衆三
○ 佐野信一郎
○ 筒井完治
坪井豊
中村浩司
長谷英治
○ 林達二

○印は萩・鎌倉の姉妹都市交流としてこの第九の合唱に参加して下さった鎌倉市の皆さんです。

合唱指導：杉ひろ子・片山加代子・岡恭子

合唱練習ピアノ伴奏：久保美子

☆印はパート・マネージャーです。

鎌倉交響楽団 日本の第九 2009年萩公演参加者

(各パート五十音順表記)

1st Violins

石川雄太
栢原穂貴
川西清美
桐本圭三
五味俊哉
白水千晶
鈴木涉子
鈴木政彦
曾根民子
武政宏晃
多田廣之
馬場潔子

2nd Violins

青木淑子
石川静
河原寛
河原勢津子
五味晶子
菅井直介
関口杏奈
中橋美木子
長谷川眞優
望月由佳子
八木育江

Violas

阿部明美
梶成彦
佐々木敬史
正木基身
三門サカエ
水上清

Cellos

飯田達男
重兼寿夫
鈴木達広
中井良樹
中川優子
中野太一朗
山田由紀

Contrabasses

大内達郎
佐藤正
原宏造
丸陽子
矢野健

Flutes & Piccolo

曾根美樹
高橋弘子
高畑裕恵

Oboes

桑野若菜
山寄一哉
山本賢二

Clarinets

片山眞知子
前沢実

Bassoons

富井一夫
三原一真
矢吹紀子

Horns

芥川敬
臼井賢司
宮崎敏幸
山田克彦

Trumpets

後藤三穂子
竹内純子

Trombones & Tuba

府川創作
桜井貴志
瀬島一海

Percussion

今城信彦
太田純
高橋正彦
簗田俊之

本日はご来場ありがとうございました。